6) Int . C1. F 16 b B 65 d

60日本分類 53 E 11 133 A 312

## 日本風特許庁

印带 許 出 順 公 告 昭47-45973

⑩特 許

昭和47年(1972)11月20日

発明の数 1

(全3頁)

### ②逆転防止ねじ装置

**砂特** 

图42-616

细出

昭41(1966)12月28日

伊州 明

**須々木琳之助** 

習 東京都渋谷区西原3の47

足宏 習忘野市繋配町1の426

日

[8]

荒木真--

東京都簒飾区亀有1の1905

第9 亀有1 丁目都當住宅:

同

鈴木正雄

東京都江戸川区平井1の1874

勿出 願 人 ライオン油脂株式会社

東京都島田区梅網1の2の26

代 理 人 弁理士 志賀正猷

#### 図面の簡単な説明

第1図はこの発明のねじ装置の1.実施例につい てその作用を説明する側面略図でもはねじ込み前、20 る。逆転防止ねじ4は普通(山程度でよく、との bはねじ込み後逆転を防止されている状態を示し、 第2図は逆転防止のおねじ部分を示す部分斜視図 7 3 S.

#### 発明の詳細な説明。

さたはゴムなどの可挽性材料部品に好適に使用で きるピツチの異なる2つのねじを通設してなる逆 転防止ねじ装置に関する。

たとえば液体洗剤。液体調味料などの液体容器 の取出し口として、口の部分に弁を設け、キャツ 30 どのような形状でもよいけれども、その円柱面に ブをゆるめれば弁が開き、キャップを締めつけれ ば弁が閉じる形式のものが多いが、この類の容器 のキャップではキャップをゆるめすぎてそれが容 器から脱落するととを防ぐため、従来ギャップお よびこれがはまる容器の口部に円輪状の突条をた 35 て切り落とした形とすることである。これに対応 は円周の1部に突起を設け、キャンプをはめると き強い力をかけてこれらを相互に弾性変形させ、

一旦これらの突起を乗り越えさせておくことによ り、逆にゆるめるときにははめるときと同等の力 をかけなければぬけ出さないようにしたものが多 い。しかしながらこの形式のものでは脱落しにく

5 くすると藝帯もそれだけ困難になるわけであり、 一般に完全な脱落防止は不可能であった。

この発明は全く新規な機能による逆転防止ねじ **装置を与えるものであつて、上述のような容器キ** ヤツブの脱落防止など、一般に合成樹脂また仕ゴ 10 ムなどの可撓性材料のはめ合い部分に応用して完 全な逆転防止の効果をあげるものである。

・図についてとの発明のねじ茶置を詳しく説明し より。第1図はこの装置を容器とそのキャップに 応用した実施例を説明するもので、実験は容器口 15 部外周代設行たおねじ、 2 点鎖線はキャップとそ の内閣に設けためねじを示す。 容器の口部外属 1 Cは根元に近い側にピッチP。の送りおねじるが 形成され、根元から遊い側にピツチPg の遊転防 止おねじ 4 が前記送りおねじと分離して形成され ピンチP2 はP1 より小さく、好きしくはピツチ P1 の2/3程度とする。

容器口 1 にはめるキャップ 2 の内間には節記お ねじに対応する位置にそれぞれピッチP。および との発明は逆転防止ねじ装置。特に合成樹脂、 25 Pz の送りめねじ 5 および逆転防止めねじ6 を形 成する。

> この発明の髁成において特に重要をことは、逆 転防止おねじまおよびめねじ6の形状であつて、 ねじ山は三角ねじ、角ねじ、また社台形ねじなど 沿う線端部はおねじ 4 について見た場合第2図 a bに示すようにねじの係合はじめ端部4Aでは先 耀を綱く丸め、他端の係合はずれ端部 4 B におい て、ねじを形成した円柱の齟縛を含む平面によっ する逆転防止めねじ6についても同様に係合はじ め関部6 Aおよび係合はずれ鑑部6 Bにおいて同

3

様の形状とする。

さてこのように形成したねじ装置の作用を説明 しょう。第1図をはいまやヤツブ2を容器口1に ねじ込みはじめる状態を示したもので、送りおね じるおよび送りめねじちが係合してある距離だけ 5 て変形したくいものであり、この意味で上述の説 キャップが難方向に送られたとき、逆転防止おね じると同めねじらとが第1図aに図示した状態に くるようにあらかじめ形成するものとする。 との ときは逆転防止おねじの係合はじめ端部4Aと同 めねじ6の対応する端部6点とは、それらの先端 10 を三角ねじとすることは任意である。また送りね が細く丸まつているため容易に抵抗なく噛み合い はじめる。

第1図 bは、図 a の状態からキャップ2を1回 転した状態で、特にP, = 1.5 P, の場合を描い たものである。これを説明すると、キャツブ2は15 い)ものであればP。 がP₂ よりわずか大きい器 大きいピッチP,の送りねじるおよび5の噛み合 いによつて動方向にはめてまれるから、1回転の 後 P: - 1.5 P, だけ進む。このとき逆転防止ね じるおよび6のねじ山の間では、材料が可挽性で あるからねじ山が相互に弾性変形して無悪に押し 20 防止ねじ装置は説明のための実施例にあげたむけ とまれ、1回転後ねじの保合が外れる。とのとき キャップのめねじ6はそれ自身のピッチの1.5倍、 つまり図りのように係合はずれ始部6Bがおねじ の同端部 4 Bに対向する位置に進むわけである。

b図から明瞭なように、この状態からキヤツブ 25 野に極めて有効に使用できるものである。 を逆転させようとしても前記端部 4 Bおよび 6 B とが突き当つて失して逆転できない。もしわじ山 が第2図aに示すように角ねじ、あるいはまた台 形ねじなとであればP, = 1.5 P2 という関係で なくても端部が多少食い違うだけで相互に突き当 30 止ねじと、何中空円柱内周面に前記名おねじに対 たる部分があり、容易に逆転しないものである。 をおキャップ2をねじこんで行つて、前記のよう に遊転防止ねじ4おIUBの嚙み合いが外れた後、 さらにある距離だけねじとみ、その後にキャップ を遊転させても、逆転防止ねじの両端部4Bおよ 36 とする逆転防止ねじ装置。 び6Bが上述と同じ関係位置に来ることは明白で

ある。なぜなら容器およびキャツブの相対位置は ピッチP。の送りねじの回転量によつてだけきま るからである。 言うまでもないことがあるが、ね じ山はピツチの大きいものほど大きく、したがつ 卵を理解されたい。

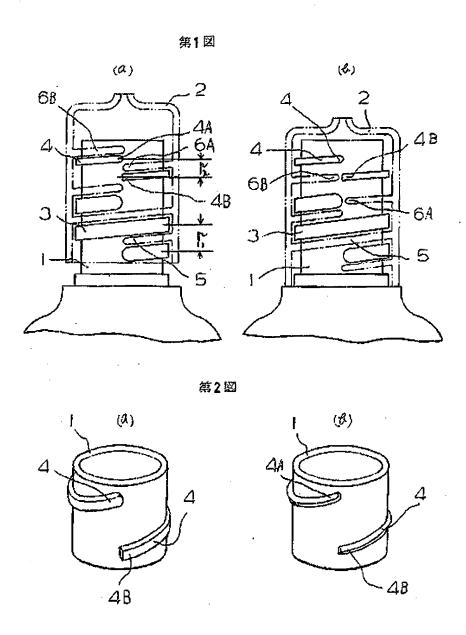
このような逆転筋止わじ装置をさらに使いやす くするため。実際には送りねじるおよび5を角ね じまたは台形ねじにし、遊転防止ねじ4および6 じのピッチ P』と逆転防止ねじのピッチ P』との ビッチ巻についても、逆転の緊縄部4日および6 Bとが再び酸み合わない程度にずれていればよい のであるから、材料が比較的かたいく剛性の大き 胺 でもよいであろう。これらはすべてとの逆転防 止ねじ装置を応用すべき対象、材質などによつて 適宜退定すればよい設計上の問題に属する。

以上の説明からわかるように、この発明の逆転 止めキャップをはじめ、各種の逆転防止装置に広 く応用でき、その効果はストツパで止めると剛じ **瓔くつの確実なものであり、しかも構成が簡単で** 製作も容易であるなどの利点を有し、工業の各分

#### 特許請求の範囲

じおよびこれと軸方向に分離して形成されるビッ チP。〈P。〈P,〉の弾性変形しやすい逆転防 応して形成される送りめねじおよび弾性変形しや すい遊転防止めねじとを有し、17前記遊転防止お じ山の円柱面に沿り両線機部に係合けじめ端部は よび係合はずれ端部が形成されていることを停御

# best Available Cop.



# Best Available Cop

Japanese Utility Model Laid Open No. JP 47-45973 B

Japanese Utility Model Laid Open No. JP 47-45973 B

A device of a reverse prevention screw

#### What is claimed is:

A device of a reverse prevention screw characterized in having a feed male screw of a pitch P1 formed in the circular cylindrical surface, a reverse prevention screw, easy to be deformed elastically, of a pitch P2 formed separately into the opposite direction of a shaft, a feed female screw formed around the midair column corresponding to the said male screws and a reverse prevention female screw, easy to be deformed elastically, wherein the parts engaged to the ends along the surface of the column of the top of the said reverse prevention screw and the parts not engaged to the ends along the surface of the column of the top of the said reverse prevention screw are formed

#### Brief description

For example, liquid detergent. There are many things in form that a valve closes if a valve opens and a cap is fastened if a valve is set up in the part of the mouth as mouth of the liquids container such as liquids seasoning and a cap is loosened. However, the strong power is hung, and elastic deformation makes it do these mutually with a container cap of this seed when a projection is set up in the capitulum's of the container which a cap and this fit into so far in passage of the circular annular is or one circumferential copy and a cap is put so that a cap may be loosened too much and that may prevent it from falling from the container. There are many things worn not to begin to come out for a while if the power equal to time to put it when making it loosens it backward gets it over isn't hung. When it was made hard to fall in this form of thing, only that was difficult, and installation couldn't prevent perfect falling off, either. This invention is a reverse prevention screw device by new composition at all, and generally prevention of falling off of the above-mentioned container cap is applied to the fit part of the combustible material such as synthetic resin or rubber, and gives it the effect of perfect prevention of reverse. The feed female screw 5 of a pace P1 and P2 and a reverse prevention female screw 6 are formed in the position to cope with the above male screw in each of surrounding in a cap 2 to put in the container mouth 1. It is the form of the reverse prevention male screw 4 and the female screw 6 to be important, and any form in such cases as the triangular screw thread, the square thread and the trapezoidal screw thread is good for the screw thread. It is the form which cut it off by the plane which covered the axis of the column which rounded it thinly and which formed a screw in engaged to disconnection end part at the end of others in the end part at first engaged of the screw to tighten it in the second figure and to when a follow

Rest Available Copy

JP 47-45973 B.

point is seen about the male screw 4 in the circular cylindrical surface. A feed screw and a square thread and a trapczoidal screw thread are actually taken, and it is optional to make a reverse prevention screw a triangular screw thread to make a reverse prevention screw device user-friendlier. It is good about the difference from a pace P1 of the feed screw and a pace p2 of the reverse prevention screw in case of reverse if it deviates as an end part doesn't engage again. Therefore, it is good even as P1 is less than p2 big if material can be kindled comparatively. You have only to choose it properly by the object, which a reverse prevention screw device should be applied to, and the quality of the material. It is a problem in design. A reverse prevention screw device is applicable widely including the coming off stop cap in the different plugging. When it is stopped with a stopper that effect is certain, and the construction of the same reason is easy as to it, and production is very available for the validity too.

Best Available Copy